

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月18日
更新年月日	( )
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	東近江市 (252131)
地域名 (地域内農業集落名)	山本 (五個荘山本町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

### 1 地域における農業の将来の在り方

#### (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	10.8	ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.8	ha
② 田の面積	10.8	ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)		ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.2	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0	ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	2.5	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.7	ha
(備考)		

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

#### (2) 地域農業の現状及び課題

- ・平成10年に圃場整備事業完了。
- ・平成26年に〇〇〇を「〇〇〇」に法人化し、集落の中心経営体となる。
- ・農地面積は約10.8ha、うち54%に当たる約5.8haを「〇〇〇」が所有者等から土地を借受、水稻・麦・大豆を生産している。その他は、地域外在住の農業従事者が水稻等を生産しており、1名が約3haを経営しているほかは1ha以下の小規模な経営である。
- ・「〇〇〇」の構成員は高齢化してきており、構成員の後継者を含めた法人の後継者の育成が課題。
- ・「〇〇〇」が借受けている農地を処分したいと考えている土地所有者(約1.5ha)がいるため、これらの処理をどうするかを検討する必要がある。

#### (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・地域の農業を支えていけるのは、地域内における唯一の認定農業者である「〇〇〇」だけであるので、前記課題の解決策を早期に検討するほか、地域外からの認定農業者等の受入れや農業を担う者を発掘・募集するなど、地域全体で利用する仕組みの整備を進める必要がある。
- ・「〇〇〇」の規模等を考慮すると、これ以上の経営拡大は無理と考えられ、現状栽培している水稻・麦・大豆を中心に行っていきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・ 地域の農業を支えていけるのは、地域内における唯一の認定農業者である「〇〇〇」だけであるので、前記課題の解決策を早期に検討するほか、地域外からの認定農業者等の受入れや農業を担う者を発掘・募集するなど、地域全体で利用する仕組みの整備を進める必要がある。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	54.6	%	将来の目標とする集積率
			54.6 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・ 圃場整備事業区域内を含め、今まで積極的に集約化を進めてきているが、更に集約化ができるかどうかを検討し、可能な限り団地面積の拡大を進めていきたい。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
・ 圃場整備事業区域内を含め、今まで積極的に集約化を進めてきているが、更に集約化ができるかどうかを検討し、可能な限り団地面積の拡大を進めていきたい。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
・ 必要に応じ農地バンクを活用していきたい。
(3) 基盤整備事業への取組
・ 現状、特に問題はないが、必要に応じ対応していきたい。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
・ 地域外からの認定農業者等の受入れや農業を担う者を発掘・募集するなど、地域全体で利用する仕組みの整備を市及びJAと連携し進めていきたい。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・ 作業の効率化や費用対効果を検討し、ニーズに応じて委託を進めていきたい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

